

令和元年度 第2回下野市地域公共交通会議 会議録

	令和元年6月26日(水)午後2時00分～午後3時40分
開催場所	下野市役所2階 203会議室
出席者	長田委員(会長)、山田委員、山本委員、山中委員、笹川委員、坪内委員、太田委員、清家委員、関口氏(清家委員随行)、鈴木氏(谷委員代理)、河又氏(柴委員代理)、小林氏(矢吹委員代理)、佐藤氏(塩田委員代理)、小堀氏(保坂委員代理)、荒川委員、小矢島委員、鉢村委員、川中子委員
欠席委員	若林委員、渡邊委員、原委員、江面委員
傍聴者	4名

次第

1. 開会
2. 議題
 - (1) 下野市デマンドバスの現状と分析について
 - (2) 地域公共交通確保維持事業について
 - (3) 地域公共交通網形成計画策定に係る住民ニーズ調査について
 - (4) その他
3. 閉会

○開会

資料確認

(会長) ○会長あいさつ

平成31年度第2回地域公共交通会議ということで、本日の会議を始めたいと思う。本日の会議は、デマンドバスの現状について、地域公共交通確保維持事業について、網形成計画に関する住民ニーズ調査についてという議題となる。皆様の忌憚ないご意見をいただきながら進めていきたいと考えているので、よろしく願います。

○下野市地域公共交通網形成計画策定支援業務委託業者紹介

議事録署名人選任

名簿No.3番 山田委員、名簿No.9番坪内委員を選任

なお、下野市地域公共交通会議条例第6条第2項の規定に基づき、出席者16名で会議成立

議題1【下野市デマンドバスの現状と分析について】

事務局説明

(委員) 資料2の1頁目、年齢区分別登録者数について、母数は把握されているのか。下野市の人口構成も将来的に変動するので、母数を把握し、年代別に振り分けることで市全体のボリュームを知ることができると思うので、確認していただきたい。

(事務局) 承知した。

(委員) 説明の中で、小型バス2台の場合の初年度経費は5,500万円との話があったが、減価償却はしないのか。減価償却する場合、何年であるのか。

(事務局) 現行のデマンドバスは耐用年数6年である。

(委員) 自動運転の実現等 世の中の変化を考慮すれば、6年の償却期間では長すぎると思う。

(委員) 『のりもの・のりかたガイドブック』を県内の小学2年生を対象に副読本として配布している。これには、バスやデマンドバスの無料乗車券が付いており、今年度から「おでかけ号」でも無料乗車券を使用できるようになっている。これを機に、皆さんにもPRしていただき、子供たちの利用促進が図れるようご協力をお願いしたい。

(委員) 確認であるが、今回の会議の主題は議題(3)にある地域公共交通網形成計画策定で間違いないか。

(事務局) そうである。

(委員) 平成22年の総合連携計画と今回策定しようとする網形成計画の位置づけを明確にしていきたい。国の法律が改正されたためと説明があったが、何がどう改正されたことで新たに計画を策定しようとする

るのか、もしくは社会情勢が変わったからなのか、市の考え方が変わったからなのか。新たに計画を策定することになった経緯を説明いただきたい。

(事務局) 現行の地域公共交通総合連携計画の計画期間は平成 28 年度～平成 32 年度となっている。「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正が平成 26 年 11 月 20 日に施行されたことに伴い、法定計画として網形成計画を策定する運びとなった。

(委員) デマンドバスは、網形成計画ではどのように位置づけるのか。

(事務局) 総合連携計画はデマンドバスに特化した計画である。網形成計画はデマンドバスに限らず、鉄道等の交通手段も含めた公共交通全体に関するまちづくりの計画として策定していく。

(委員) 1 市 2 町公共交通広域ネットワークとの位置づけも整理していただきたい。

(事務局) プロポーザルで運行事業者を公募していたが、先日、関東自動車株式会社に決定した。上三川町・下野市・壬生町を結ぶ路線バスが 10 月から運行開始予定である。市単位のデマンドバス、市町を跨ぐ広域バスという点で、これらの公共交通は住み分けされると考える。

(委員) 個々の内容については理解した。網形成計画を策定するにあたり、総合連携計画は今後どのように扱うのか、総合連携計画と網形成計画は別物とするのか等、これら 2 つの計画の関係性を教えていただきたい。

(会長) 総合連携計画はデマンドバスなど一部の交通に特化した計画であったが、法律が変わり、まちづくりの観点から計画を作ろうという時代になった。網形成計画を策定することで総合連携計画が白紙になるということではなく、網形成計画は総合連携計画の後続版というように考えていただければよいかと思う。

(委員) デマンドバスと広域バスは独立して考えるという話であったが、自治医大や小金井の住民が獨協医科大学方面へ行くためには、石橋駅で

デマンドバスと広域バスを乗り継ぐことになる。独立して考えるのではなく、例えば、鉄道駅のある地域ならば鉄道、バス、デマンドバスの連携を考えていく必要があるのではないか。地域によって利用できる交通手段に差はあるが同じ下野市民である。高齢者だけに対して考えるというものでもなく、全市民に対して同じ様に考えて検討を進めていただきたい。

また、コンパクトシティを目指していると思うので、そういった観点も含め、広い視野で検討していただきたい。

(事務局) 広域バスについては、上三川町・石橋駅・獨協医科大学附属病院を東西に走る路線がこれまで無かったこともあり、栃木県の実証運行計画に組み込んでもらえないかということで、現在の構想が決定した。広域バスでは行き届かない地域もあるので、今後は立地適正化等の動きも見据えながら検討していきたいと考える。10月から広域バスが運行することで人の動きが把握でき、バイパス的に必要となる路線も見えてくると思われるので、そういったところも踏まえ、今後慎重に検討していきたい。

(委員) 公共交通は赤字であったとしても、自治体が責任を持って運営すべきものであると考える。網形成計画を策定するにあたっては、しっかりとしたコンセプトを設定し、何のための計画かということを明確にしておく必要がある。

(会長) 赤字なので運行をしないということは考えていない。赤字の幅をどれだけ抑えることができるか、そのために網形成計画でより良いものにしていくことを考えている。

今回の資料で収支率は出ているが、市の財政に占める割合等は示されていないので、次回、事務局で用意いただければと思う。他はよろしいか。

(委員) アンケート調査が来月から始まるようであるが、事務局が考えた調査票を見ると料金レベルに対する質問がほとんどない。負荷平準化や需給ギャップを埋めるという目的があるならば、調査項目に入っていないければおかしいと思う。

(会長) アンケートに関しては、議題 3 で取り上げる予定ではあったが、ご意見をいただいたということで、ありがとうございます。

(会長) 資料 3 に関しては、次回の会議までに各委員で確認いただき、意見があれば事務局まで連絡をお願いしたい。期日等については、後日事務局より案内する。

議題 2【地域公共交通確保維持事業について】

事務局説明

(委員) これはデマンドバスを更新するためのものか。

(事務局) 更新ではなく、デマンドバスの運行に対する国庫補助金を申請するためのものであり、公共交通会議の委員の承認を得る必要があるため、本日の会議の議題としている。

(委員) 資料 2 の説明では利用者はほぼ横ばいとのことであった。事業目標において、デマンドバスの 1 日平均利用者数 133 人というのは、目標値が高すぎるのではないか。

(事務局) 例年、同様のご指摘があるが、運輸局から総合連携計画の目標値との整合を図るようにとの指示を受けている状況である。ご理解いただきたい。

(会長) 網形成計画では、実態に合わせた目標値を設定できればと考えている。

(委員) 補助金額がまだ出ていないとのことであるが、参考値として、昨年度の金額を教えてください。

(事務局) 4 百数十万円であった。

(会長) 資料 4 の申請書に関しては、算定式の通達を待って国庫補助上限額を記入して提出するというので、承認いただけるか。

(委員一同) 一同承認

議題 3【地域公共交通網形成計画策定に係る住民ニーズ調査について】

事務局説明

(委員) 最も重要となるのは市民アンケート調査だと思うが、意思表示ができる市民・できない市民がおり、アンケート調査だけでは市民の意見を集めるには限界があるのではないか。アンケート調査では集めにくい高齢者等の交通弱者の意見は、民生委員や地域包括支援センター等も活用して調査してはどうか。

(事務局) 民生委員や地域包括支援センターとも調整しながら調査することも視野にいれて検討する

(会長) アンケート調査だけで全て把握することは不可能なため、ヒアリング等も併せて実施していければと思う。

(委員) 市民アンケート調査に関して、配布数 2,000 件は統計的に妥当なのか。

(事務局) 下野市の総人口をもとに統計的に必要なサンプル数を算出すると、410 サンプル程度である。回収率等を考慮すると 2,000 件程度は妥当と考える。

(委員) デマンド交通は交通空白地域や交通弱者のための継続的な移動手段ということで、最初のコンセプトはできあがったと思う。事務局が提示する利用者数等の目標値も大事ではあるが、交通弱者のための移動手段であるという部分が最も重要であると考え。今後、交通網を検討するにあたり、デマンド交通が果たす役割、どういう位置づけとすべきかということを議論していただきたい。

また、デマンド交通の主な対象は高齢者となる。高齢福祉課等との意見のすり合わせも、アンケート調査と並行して進めていただきたい。

(事務局) 高齢福祉課や社会福祉課等、課を跨いで調整して検討を進めていきたい。

議題4【その他】

(事務局) 1市2町広域連携バスの運行開始に向け、運賃や時刻表を現在調整中である。

バス停設置にあたり、管轄の8つの自治会長には説明を完了。

運行開始に向けては愛称を募集する。7月1日にホームページで愛称募集を告知するとともに、小学校全生徒に愛称募集のチラシ配布。7月19日を募集締め切りとし、翌週には愛称を決定。7月26日の定例記者会見にて、運行事業者の決定と併せて、愛称発表を予定している。

(会長) 以上で本日の議題は終了とする。

閉会